



令和5年(2023年)第1週 2023年1月2日(月)~2023年1月8日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



引き続きインフルエンザ等の感染症に注意しましょう。

インフルエンザの報告が増えてきています。インフルエンザウイルスに感染すると、38℃以上の高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの症状が突然現れることが多く、適切な治療がなされなかった場合には急速に症状が悪化し、命にかかわることもあるため、注意が必要です。

熊本市ホームページ「インフルエンザについて(総合対策)」→



◆発熱などの体調不良時にそなえて、早めに購入しておきましょう

- ・体温計
- ・解熱鎮痛剤(インフルエンザの解熱鎮痛剤でアスピリンは、小児への使用は原則禁忌です。小児の解熱剤が必要な場合は、なるべくアセトアミノフェンを使用しましょう。市販のお薬を購入される場合は薬剤師等の専門家に相談の上購入しましょう。)



◆確認しておきましょう

- ・受診できる最寄りの医療機関の確認
- ・休日・夜間の受診を迷う場合は、右記の熊本市の電話相談を利用しましょう。相談員の看護師が、医療機関の受診の必要性や応急手当の方法等を助言します。

対象年齢など	電話番号	相談時間
子ども医療電話相談 窓口【対象:15歳未満】	#8000	平日 午後7時から翌朝8時まで 土曜日 午後3時から翌朝8時まで 日・祝日 午前8時から翌朝8時まで
夜間安心医療電話相談 窓口【対象:15歳以上】	#7400	毎日 午後7時から翌朝8時まで



◆「救急搬送困難事例」が発生しています。

- ・救急車は緊急性の高い症状の方の命を守っています。救急車の不要・不急の利用は控えましょう。
- ・病気やケガで夜間などに救急車を呼ぶか迷う場合は、上の表の番号へご相談ください。

熊本市ホームページ「休日当番医,休日や夜間に病気になったとき」→



◆生活必需品なども備蓄しておきましょう。(日持ちする食料(5~7日分)など)

備蓄は台風や地震などの災害に対しても有用です。「ローリングストック」で備えましょう。「ローリングストック」とは、ふだんから少し多めに食品を買っておき、使った分だけ買い足し、常に一定の食材をストックしておく備蓄方法です。食べなれた味は、いざというときの不安軽減になります。

期 間		2022年 52週		2023年 1週	
		12/26~1/1		1/2~1/8(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	95	3.80	166	6.64
RSウイルス感染症	→	5	0.31	6	0.38
咽頭結膜熱(プール熱)	→	1	0.06	2	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	1	0.06	3	0.19
感染性胃腸炎	↓	128	8.00	77	4.81
水痘(みずぼうそう)	→	2	0.13	0	0.00
手足口病	→	11	0.69	5	0.31
伝染性紅斑(りんご病)	→	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	→	11	0.69	4	0.25
ヘルパンギーナ	→	3	0.19	2	0.13
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗	0	0.00	2	0.13
急性出血性結膜炎	→	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	→	2	0.40	2	0.40
細菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	→	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	→	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	→	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→	0	0.00	0	0.00